

30 September 2021

グローバル人材「年上部下」と「年下上司」の実態は

人材紹介会社ロバート・ウォルターズ、「人生 100 年時代の働き方」調査結果を発表

20代～60代のグローバル人材 346人が回答

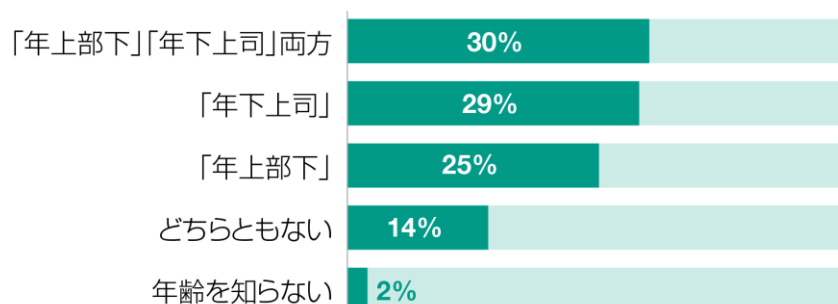
グローバル人材の転職を支援する人材紹介会社のロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：ジェレミー・サンブソン）は9月30日、語学力と専門スキルを活かして働くグローバル人材を対象に、年上の方々に敬うという『国際高齢者デー』にかけて「年上部下」の現状を理解し、より良い働き方の実現をサポートするために、「年上部下と年下上司」の実態を調査したアンケート結果を発表しました。

8割以上の会社員は、「年上部下」、または「年下上司」がいる

グローバル人材を対象としたアンケート回答者 346名に、「年上部下」、「年下上司」と働いている、または働いたことがあるかを聞いたところ、8割以上が「年上部下」（25%）、「年下上司」（29%）のどちらか、もしくは「両方」（30%）と働いている/働いたことがあると回答しました。回答者の勤務先が日系企業（84%）、外資系企業（85%）の場合での差はなく、実力主義が浸透しつつあるのが数字として読み取れました。

またその年齢差について、「年上部下」では「5-10歳」（48%）差が一番多く、「1-5歳」（31%）と続き、「20歳以上」も10%ほどいました。「年下上司」では「5-10歳」（42%）差が一番多く「1-5歳」（38%）と続き、「20歳以上」は4%でした。

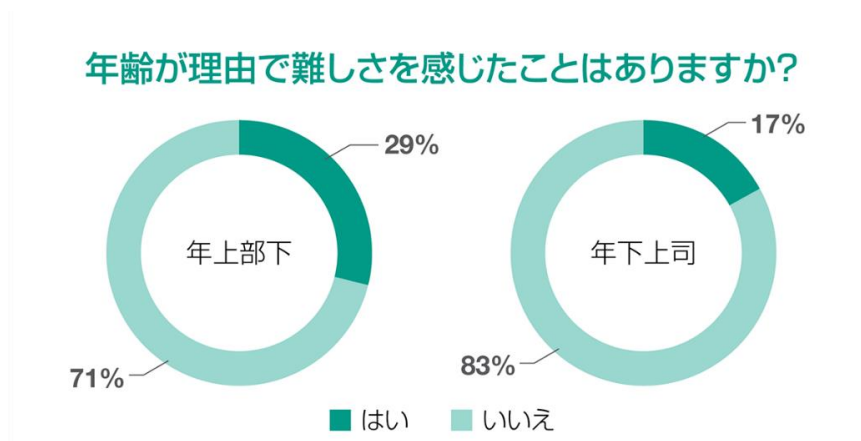
「年上部下」、もしくは「年下上司」と働いている／働いたことがありますか？



「年齢が理由で働きにくさを感じる」のは「年上部下」は3割、「年下上司」は2割と少数派

「年上部下」、「年下上司」と働いている/働いたことがあると回答した人に、「年齢が理由で働きにくさを感じたことがあるか」を尋ねたところ、「年上部下」に働きにくさを感じた（29%）、「年下上司」に働きにくさを感じた（17%）という結果になり、ともに「年齢が理由で働きにくいと感じる人」は少ない傾向がみられ、

就業環境だけでなく、人々の意識も環境とともに変化していることが分かりました。



気になる年齢差別、男女別、年代別の「働きにくさ」

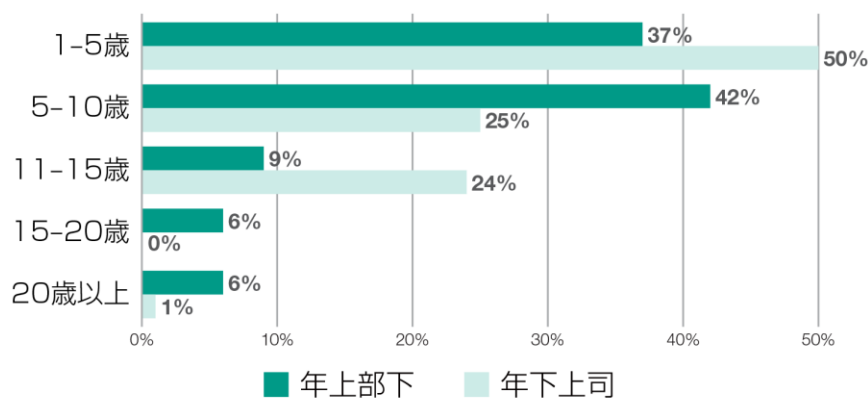
「働きにくさを感じる」と回答した少数派の方に、年齢差を聞いてみたところ「年上部下」との年齢差は1位「5-10歳」（42%）と微妙な年齢差が大多数を占め、「それなりの実績を積んできた人に対して指示しにくい。」との意見もありました。「年下上司」の場合は「1-5歳」（50%）が1位で、逆に年齢に近いほど「働きにくさ」を感じやすいことがわかりました。

男女では、女性で「年上部下」に対して働きにくさを感じたのは36%、逆に「年下上司」に働きにくさを感じたのはわずか8%と大きな差が出たのに対し、男性は年齢の上下によっての差が出ない結果となりました。

（「年上部下」27%、「年下部下」22%）

また、年代別では、40代の9割が「年下上司」に対して働きにくさを感じたことがないと回答、40代を除く他の年代の回答が8割という数字にとどまったのに対し、中間層で年功序列崩壊を若いうちから経験していることが結果として表れ、年齢に捕らわれない働き方を実践していることが示唆できました。

「働きにくさ」を感じた「年上部下」「年下上司」との年齢差を教えてください



「働きにくさを感じる理由」は年齢が生むイメージ

「働きにくさを感じる理由」を問う質問への回答で、もっとも多かったのは、「年上部下」に対しては「年上

なので注意しづらい」(46%) となりました。一方、「年下上司」に対しての回答では、「年齢故の経験値・知識不足を感じる」(53%) が過半数をこえる結果でした。これらは、大部分は年齢を気にしないながらも、年齢が生むイメージの残像が消えていないことも表しています。

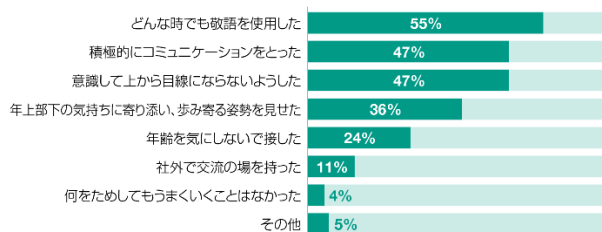
年齢の壁をこえるには「コミュニケーション」がカギ

上記の結果をふまえた、「年上部下とうまくいったコツ」については、「どんな時でも敬語を使用した」(55%) がもっとも多く、年上に対する敬意を見せることが良好な関係を築くポイントとなっていることを読み取ることができました。

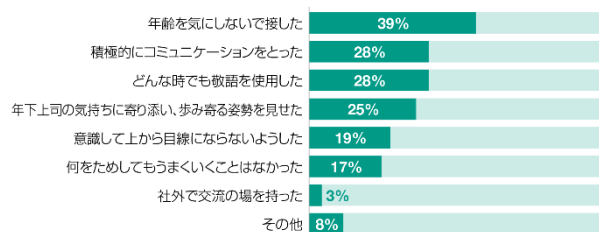
「年下上司とうまくいったコツ」として挙げられたのは、「年齢を気にしないで接した」(39%) や「積極的にコミュニケーションをとった」(28%) が上位になり、コミュニケーションがカギとなっていることが伺えました。

「何をためしてもうまくいかなかった」と回答したのは、「年上部下」わずか 4%、「年下上司」17%で、多くの人たちがコミュニケーションを通して「年齢」という壁を乗り越えていることがわかりました。

「年上部下」とうまくいったコツは何ですか?
(複数回答可)



「年下上司」とうまくいったコツは何ですか?
(複数回答可)



年上の方々に敬うという『国際高齢者デー』にかけて「年上部下」の現状を調査した結果は、年齢という枠組み自体を気にしながら働く世代は、年々減少傾向にあり、働きにくさを感じたとしても、解決のすべももち働いている人が多いことがアンケート結果より示唆できました。

(調査期間：2021年9月1日～9月12日、対象：弊社に登録のある日本在住の会社員 n=346人)

<本件に関するお問い合わせ先>

ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社 広報(安田)
TEL : 03-4570-1525 e-mail : yuko.yasuda@robertwalters.co.jp

ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社について (<https://www.robertwalters.co.jp/>)

ロバート・ウォルターズは1985年に英国・ロンドンで設立され、世界31カ国/地域の主要都市に拠点を持つ、スペシャリストのためのグローバル人材紹介会社です。ロバート・ウォルターズ・ジャパンは同社の日本オフィスで、バイリンガル人材に特化しています。2000年に東京オフィスを、2007年には大阪オフィスを開設。グローバル企業、日系企業ともに世界有数のトップ企業から新規参入企業、中小企業に至るまで、多岐に渡る業種・職種、正社員および派遣・契約社員と幅広い採用ニーズに応えた人材紹介をおこなっています。世界で戦う日本人アスリート、各種NPOの支援など日本社会への貢献にも積極的に取り組んでいます。